

平成26年度 学校評価自己評価報告(幼稚園)

幼稚園名 (京丹後市立峰山幼稚園)

幼稚園経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	
幼稚園経営目標 「主体的に活動し、健康な心と体をもった幼児の育成」 1 挨拶が溢れる幼稚園 2 異年齢交流が活発で、子どもたちが夢中になって生き生きと遊ぶ幼稚園 3 保護者地域から愛され信頼される幼稚園	幼稚園教育目標 ○幼児が主体者となり遊びこめる環境作りの工夫を行ったことで、意欲的に遊ぶ姿が見られた。 ○家庭と連携した挨拶の取組により挨拶が定着してきた。 ○小学校に併設された環境で、1年生の生活科と連動し、一歩進んだ交流活動ができ、刺激を受けた。 △様々な家庭環境の中で課題を抱えた幼児も多いので、専門機関との連携を図りながら、職員全員で実態や課題を共有し協同して教育を進める。	本年度幼稚園経営の重点(短期経営目標) ・友達と協同し夢中になって遊べる子どもを育てる。 ・言葉で思いを話せる子どもを育てる。 ・積極的に情報発信を行い、保護者・地域との連携を強化し教育活動の質の向上に繋げる。 ・事例研究や公開保育で園内研修を充実させ、小学校に併設の環境を生かして幼小連携を推進する。 ・職員研修を充実させて、教育内容の充実に努める。	本年度幼稚園経営の重点(短期経営目標) ・友達と協同し夢中になって遊べる子どもを育てる。 ・言葉で思いを話せる子どもを育てる。 ・積極的に情報発信を行い、保護者・地域との連携を強化し教育活動の質の向上に繋げる。 ・事例研究や公開保育で園内研修を充実させ、小学校に併設の環境を生かして幼小連携を推進する。 ・職員研修を充実させて、教育内容の充実に努める。
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
教育課程	○自己の発揮と他者とのかわりを通じた、協同性の育成 ・自己肯定感を育て、主体的に活動する力をつける。 ・人間関係を深め、友達と協同して遊びや活動をし、学び合っている力をつける。 ・他者がかかわる際に味わう感情体験を大切に、育ちに繋げる。 ・コミュニケーションや規範意識など様々な力を総合的に育む。	(1) 多様な他者との出会いや体験の機会を設定する。 ・施設の見学や訪問・行事や取組にかかわった交流・体験活動 (2) 幼児が主体者となる遊びや生活の充実に向け、環境構成を工夫する。 ・戸外遊び・室内遊び・運動遊び・朝の会活動・当番活動 (3) 集団生活ならではの経験や、友達と取り組む醍醐味が味わえる活動を行う。 ・飛天、小学校運動会、小学校文化祭、地域の祭り等への出演・宿泊体験・運動会・収穫祭・共同製作 (4) 異年齢交流保育を推進する。 ・園外活動・ランチルーム給食・異年齢グループ活動	○様々な体験活動を通して、友達・親・地域の方・見学や訪問先の方等と直接的に関わり交流することにより、幼児が様々なことに興味関心をもつことができた。 ○4月当初より異年齢で遊びや生活を共にする環境や時間等の工夫を行った。5歳児の中で自己中心的な幼児(発達年齢的に)が、3歳児の面倒を見たり一緒に遊んだりし、人を思いやる心情や態度が見られるようになった。そんな姿を3・4歳児がすぐ傍で見ているようになった。特に戸外遊びを通して、幼児が主体的に遊びを展開させることができよう環境の工夫と教師の連携を図った。考えて遊ぶ楽しさ、友達と目的を共有する楽しさを感じ、意欲的に遊ぶ姿が見られた。 △好きな遊びを連日展開させ、日々考え、工夫し友達と関わりながら遊ぶ時間と空間の保障が必要である。
	○対人関係を築く言葉力の育成 ・はつきりと返事や挨拶が出来る力をつける。 ・人の話をしっかりと聞き、自分の思いを言葉で表現する力を身につける。 ・絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わうとともに語彙力を豊かにする。	(1) 挨拶の奨励を行う ・毎月合言葉を作成し、家庭と連携した取組を進める。 (2) 自分の思いを言葉で表現する取組を進める。 ・感動体験の機会設定や発表や話し合いの機会設定 (3) しっかりと聞き理解させる取組を進める。 ・クラスや全児で話を聞く機会設定 ・「目と目を合わせて聞く」事の徹底 (4) 絵本や物語に親しむ機会を多く設定する。 ・一日1冊絵本読み聞かせの実施 ・絵本の貸し出しと「絵本カード」の取組 ・P.T.Aと連携し「夏休み絵本カード」の取組	○心が揺れ動き、思わず気持ちや言葉を表現したくなるような遊びや体験活動等を計画実践した。自分の言葉で思いを伝えることの喜びを共感し、「また話したい」と思えるような環境や教師の援助を考え工夫した。 ○毎日の読み聞かせを通して絵本に親しみ、お話にも関心をもった。3学期は5歳児が劇や人形劇のお話作りに挑戦し、刺激を受けた3・4歳児もお話作りを楽しんだ。3学期の参観では、それぞれの学年毎に発表会として言語表現ができた。事後活動でさらに言葉が豊富になった。△挨拶の奨励を行ってきたが、十分とは言えなかった。今後さらに工夫しながら挨拶を奨励していく。

	<p>○人権尊重の精神・規範意識の芽生えの心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・してはいけない事や、言っている事や、生活の中に決まったりルールがある事を理解させる。 ・幼児が互いに大切な存在であることを認識できる教育を展開する。 ・ボランティア精神の芽となるような温かい心を育てる。 	<p>(1) グループ活動や当番活動を行う。</p> <p>(2) ルールの中のある遊びを積極的に取り入れる。</p> <p>(3) 生活の中のものや、友達や先生と話をしながら、お互いに思いを伝えられる場面を見逃さず、指導する。</p> <p>(4) 生き物の飼育活動を行う。</p> <p>(5) 当番活動やチャーム活動等協同する活動の機会を多く設ける。</p> <p>(6) 社会の中で人に喜ばれ自分が役に立ちたいと感じられる体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設訪問・高齢者大学と交流・クリエーション作戦・アルミ缶エコキッズ収集 	<p>○5歳児は登降園もグループで行い、様々なグループ活動を通して協調性や規範意識の高まりを感じる。</p> <p>○自己主張のぶつかり合いは大切な機会と捉え、展開を見守りながら互いに相手にどのようの思いを伝えればよいのかを一緒に考える時間を大事にする指導ができた。</p> <p>○生き物の飼育を通して、命を大切にすることに思いやりが育ち、責任感が芽生えてきている。特に孔雀の死を目の当たりにしたことに対して心が育った。</p> <p>○「地球見守り隊」としてゴミをポイ捨てしないという身近なわかりやすい環境教育に取り組んだ。園外を歩く時にも意識する幼児が増えた。</p> <p>△交通安全・シートベルト・チャイルドシート着用について幼児にも保護者にも命を守る為の大切なルールであることをさらに知らせていく必要がある。</p>
子育て支援	<p>○家庭地域との連携と子育て支援</p> <p>○家庭の教育力の向上</p>	<p>(1) 地域の子育て基地として地域から愛される幼稚園を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園開放の実施・地域の祭りや行事への参加 <p>(2) 家庭の教育力向上に向け支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の場の設定・研修機会の提供 ・親子体験活動の場提供・園便り等で情報提供 <p>(3) 子育てについての相談の場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園長とお喋り会・個人懇談会・金曜日園まで迎え <p>(4) 預かり保育を充実させる。</p>	<p>○孤立しがちな現代の子育て事情であるが、PTAと共催の行事等で保護者同士が繋がりが、意欲的に子育てをしていこうとする保護者が多かった。</p> <p>○地域と学校共催の運動会への参加や飛行機、市役所へ絵描き初め展示、花のプラントナー設置、駅前花壇の協力等により、地域への幼稚園理解を発信する事が出来た。</p> <p>○その日の出来事を写真入りでの便りや知らせたり、写真入りの園便りの作成等に努めたりし、園教育の理解や親子での会話のきっかけ作りを行った。</p> <p>△毎月1回園長とお喋り会を設け、子育て相談や園理解の場としたが今後は工夫が必要である。</p>
幼小連携	<p>○幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容や指導方法のあり方の相互理解を深める ・幼稚園児と小学生との交流で思いやりや優しさ懂れ等豊かな心を育む。 	<p>(1) 園児と児童の交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同行事の実施(焼き芋大会・避難訓練) ・小学校行事への参加や見学(吉原フェスティバル・運動会・児童会遊び・書き初め大会・プール掃除) ・幼稚園行事に参加(七夕飾り作り・よもぎ団子) <p>(2) 職員との交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同研修・保育参観・交換授業 <p>(3) PTAの連携を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み清掃活動 	<p>○日常生活で自然に交流し、親しみをもつことができた。</p> <p>○学年毎の交流や児童会主催の全校遊び、焼き芋会等、ふれあう機会を通して仲良くなり、憧れの気持ちも育った。</p> <p>○学校行事と一緒に参加させてもらうことで保護者も小学校への関心が高まった。</p> <p>○「峰山学園」として同じ目標をもち、カリキュラムの作成も進み、円滑な接続に一步前進した。</p> <p>△授業中の雰囲気や掲示物等、見せてもらう計画をしていたが、時間的に余裕がなく計画倒れになって残念だった。</p> <p>○毎日の終礼は個々の園児の課題の共有や解決に繋がった。</p> <p>△翌日の保育の展開確認や園内研修の充実については計画と時間の工夫が必要である。</p>
研修	<p>○園内研修の充実</p> <p>○教員の資質向上</p>	<p>(1) 年間研修計画により指導力の向上を目指した理論研修、事例研究に取り組む。</p> <p>(2) 月案・週案・特別支援等園内研修の充実を図る。</p>	<p>○毎日の終礼は個々の園児の課題の共有や解決に繋がった。</p> <p>△翌日の保育の展開確認や園内研修の充実については計画と時間の工夫が必要である。</p>
次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園になることでさらに様々な家庭環境の中で課題を抱えた幼児も多く、また、専門機関との連携を図りながら、個々の幼児の実態や課題を職員間で共有し、協同して教育を進めていく。 ・P D C Aサイクルに基づいた質の高い教育実践に努める。 ・幼稚園と保育所の保護者が手を取り合っ意向的に子育てに関わる事ができるようにしていく。特に長岡小学校との連携を図っていきたい。 ・「峰山学園」として同じ目標をもち、小学校との教育内容や指導方法を推進する。 		

平成26年度学校評価自己評価報告(幼稚園)

幼稚園名〔京丹後市立大宮幼稚園〕

幼稚園経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度幼稚園経営の重点(短期経営目標)	
<p>“笑顔 いっぱい げんきななま!!” 一かんじて かんがえて みんなでつながろう。――</p> <p>(1)生活に必要な習慣・態度を身に付け、健康な心と体で生きる力を育てる。 (2)主体的に活動し、言葉を介してコミュニケーション力を育てる。</p>		<p>○自ら挨拶のできる子どもが増えた。 ○思いや考えをことばで表現し、人の話を聞く態度を身に付けた。 ○園での子どもたちの活動内容や様子を分かりやすく保護者に知らせる工夫をした。 △幼保一体化施設である保育内容の理解 △職員間の報告・連絡・相談の徹底と研修を深める。</p>		<p>本年幼児自らが環境にかかわり、感動する体験を大切に、豊かな感性を養う。 (2)自らの健康や生活に関心を持ち、リズムある生活が習慣になることを意識させる。 (3)保護者の子育ての不安に寄り添い、安心して子育てができるように支援する。 (4)大宮中校区の連携を進める。</p>	
評価目標	重点目標	具体的方策			
<p>教育課程</p> <p>○幼児自らが環境にかかわり、感動する体験を大切に、豊かな感性を養う。 ○自分の思いや考えを表現したり行動したりできる力を養う。 ○幼児を取り巻き生活環境や健康について実態を把握し、基本的な生活習慣や態度を育てる。 ○常に園内外の安全指導・安全対策に留意する。</p>	<p>(1) 園内外の自然の中で発見や感動を持つ。 (園内)・砂・泥遊び・プール遊び ・園内の草木・野菜・花づくり ・虫取り・小動物の飼育 (園外)・遠足:水族館見学 ・散歩:花畑見学・神社・農道を歩く・公園で遊ぶ・小動物捕り</p> <p>(2) あいさつ運動:玄関で元気に挨拶を交わし一日を始める。 (3) 活動に合わせ、話し合いの時間や場を持つ。 (4) 登園時間や子ども達の実態を把握し、個々に合った助言や指導を行う。 (5) 散歩や集団降園などで交通ルール・集団でのルールを共に考え知らせる。また、保護者会で交通安全・危機管理について学習会を行う。(保護者会と共催)</p>	<p>成果と課題(自己評価)</p> <p>○自然物や環境に目を向けることができるように保育者は言葉かけや行動を見せることで素直に感動できる子どもが増えた。また、いろいろな表現することの楽しさを経験できた。 ○朝の第一歩は挨拶から！を園児や保護者に伝えること・職員から大きな声で挨拶を行うことと進んで挨拶をする親子が増えた。 ○朝マラソン・体操の時間を決めることで登園時間の遅い子が意識できるようになった。 ○生活や活動の中で静と動のメリハリを作ることとで集中して取り組みを楽しむことができるようになってきた。 ○生活や活動の内容や約束(ルール)など子ども達と一緒に考えたり相談を繰り返したりすることとで、いろいろなことに興味や関心・意欲を持つようようになった。 △登降園での交通ルールやマナー等について保護者会と共に研修やたよりを通して繰り返し指導していく。</p>			

子育て支援	○家庭での子育ての不安に寄り添い安心して子育てができるように支援する。	(1) 子育て相談 (随時) (2) 園開放 (月 2 回) (3) 預かり保育 (4) 支援センターの利用 (5) 一時預かり制度の利用	○園や家庭での園児の生活や活動の様子を送迎時、電話連絡・連絡ノート・家庭訪問などで互いに分かるように伝え合えた。 △個に合った支援を保護者と共に進めていく工夫・検討が必要。
保幼小中連携	○大宮中学校区の連携 (1) 学びの“基礎力” ・遊びを通して、人とかかわることの楽しさを知り、思いや考えを言葉で表現する子どもを育てる。 (2) 学びの“発展力” ・いろいろな人とかかわり、自分の良さや友だちの良さに気づき、思いやりのある豊かな心を養う。	(1) 大中学校区校長会・人権教育研修を通して子ども達の実態から課題点を見つけ、共通の目標を持つ(ことば力・聞く力・話す力) (2) 中学校との連携 ・地震津波合同訓練・体育祭見学 ・福祉体験での交流・作品の交流 (3) 小学校との連携 ・生活発表会鑑賞・音楽発表会鑑賞・連絡会・運動会見学 ・体験入学・保育参観 (4) 保育所との連携 ・5 歳児交流会・担任会・参観交流 (5) 高校生との連携 ・花の苗植えと交流	○学びの“基礎力”を幼児にとってどのような捉え、家庭に伝えていくのか学ぶことができた。(基本的生活習慣・聴く・話す) ○中学生との交流を通して、あこがれの存在となり、集団としての行動やことばの使い方など真似をしたり、いろいろなことに挑戦したりしようとするきっかけとなった。 ○小学校との交流の中で入学を楽しみに生活や活動を進めていくようになってきた。 △人権教育研究会や保幼小の連携が行えたが、今後は、保幼小のカリキュラムを学び合い、スムーズな接続ができるような研修を行う。
家庭・地域との連携	○自らの健康や生活に関心を持ち、リズムある生活が習慣になることを意識させる。 ○人とのかかわりを持つ力を育む。	(1) 登園時間を 9 時までとし、集団で行動することの楽しさを知る。(生活点検カード) (2) 社会人講師を迎えて様々な体験をする。 ・本の読み聞かせ・お茶会・サッカー教室 ・琴、尺八の演奏に合わせての読み聞かせ ・ALT との交流・看護学生との交流 (3) 高齢者との交流 グループホームとの交流(随時)・大宮苑	○地域・小中高生との交流で人とのかかわりが“楽しい・嬉しい”という気持ちで育ち、活発な行動へと変わっていった。 ○様々な講師を迎え、かかわることで挨拶・ふれあい方・マナーなどそれぞれの年齢なりに人とのかかわりの力がついた。 △通園地域との交流が持てる機会を持つ。
次年度に向けた改善の方向性	○自ら挨拶できる子どもにする。 ○園での活動や様子を分かりやすく保護者に伝える工夫をする。 ○職員間の報告・連絡・相談の徹底と研修を深める。	○思いや考えをことばで表現し、人の話を聞く態度を身につける。 ○保幼小の連携を通してスムーズな接続について研修を重ねる。	

平成26年度 学校評価自己評価報告(幼稚園)

幼稚園名〔京丹後市立網野幼稚園〕

幼稚園経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度幼稚園経営の重点(短期経営目標)
(1) 幼児自らが環境に関わり、感動する体験を大切に、豊かな感性を養う。 (2) 自分の思いや考えを表現し、行動できる力を養う。 (3) 幼児を取り巻く生活環境や健康について実態を把握し、基本的な生活習慣や態度を養う。 (4) 常に園内外の安全指導・安全対策に留意する。 (5) 地域の自然や文化に触れ、生活体験や社会体験を豊かにする。	前年度の成果と課題 ・子どもが「～がしたい」ということをクラスで紹介し取り上げることで大変意欲的に取り組めた。自信をもつこともでき、他の苦手な取組も頑張る姿があった。 ・発表会の大きな舞台で頑張ったことを担任や他の教師・友達にも褒めてもらうことで自信がつき、幼稚園以外の発表の場でも堂々と表現する姿があった。 ・自分たちで決めたり答えを出したりして進めていくことで、決め事が確かなことになり出来ていない友達に教えることができた。 ・週1回の図書館ボランティアによる読み聞かせ・年10回のキッズサツカー・年3回のお茶会・高齢者大学との交流やデイサービス交流等たくさんの方とのかかわり、学びを広げることができた。	「どきどき わくわく きらっ!!」 ～自己肯定感をはぐくみ仲間とともにかがやく心の育ちをめざして～ ・楽しい幼稚園生活を過ごす ・主体的な活動をくり広げる ・人とつながり合うことの楽しさを味わう
評価項目	重点項目	成果と課題(自己評価)
教育課程 「どきどき わくわく きらっ!!」 ～自己肯定感をはぐくみ仲間とともにかがやく心の育ちをめざして～ ・楽しい幼稚園生活を過ごす ・主体的な活動をくり広げる ・人とつながり合うことの喜びを味わう	具体的方策 ・一人一人の子どもと心をつなぎ、個々が安定できる幼稚園生活の創造をする。 ・自らの健康や生活に関心をもち、リズムある生活が習慣になることを意識させる。 ・集団でなければできないこと、大勢ですると楽しいことに気づかせ、他人に関心をもたせる。	○一人一人の子どもと心をつなぎ、四方八方にアンテナを張り巡らせ子どもの言動をしっかりと受け止め共感関係を確立した。 ○毎日の朝の会で欠席者とその理由を知らせ感染症の予防や健康な生活をするためにはどうしたら良いかなど考える場を提供した。終わりの会では、1日の振り返りと明日への期待がもてるように伝え喜んで登園できるようにした。 ○△合奏・リレー・ドッジボール・共同製作等の活動の場で教師が大いに盛り上げ一緒に楽しみ、大勢ですると楽しいことに気づかせた。参加したくない子どもには『見る参加』から始めたが、心の安定も関係し課題となった。

子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園開放により、就園前の親子の保育参加を行い、子育ての安定を図る。 ・園便りやクラス便りや懇談会などを通し、保護者に子ども様子を知らせ、共育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度の『なかよしスクール』を開催する。園に慣れて楽しく遊べるような雰囲気と子どもが好きな玩具を置く。 ・子育て講演会を開催し、子育てに関することを考える場とした。 ・保護者の話や相談に、丁寧な耳を傾け一緒に問題解決に向けて進めていく。 	<p>△『なかよしスクール』では、園児数が少なくなるに伴って参加人数が少なくなっている。大勢の参加のために広い範囲でまた、繰り返し周知が必要だと思った。</p> <p>○講師の先生の担任時代の体験談をたくさん話してもらい好評だった。</p> <p>○保護者と子育てを意識し、今日のことは今日うちに電話連絡や家庭に出向き、保護者対応を丁寧にした。</p>
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、段階に応じて子どもたちが不安にならないように避難できるようにする。 ・保護者に危機管理に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震・または、地震による津波の訓練も行う。 ・緊急連絡網を発信し、避難後に降園時間を合わせ、それぞれの家庭から迎えに來てもらおう訓練をする。(年2回) ・防犯訓練は、子ども達にとって恐怖体験にならないように配慮する。 	<p>○△津波の避難を想定し、『銚子山』に避難した。3月中旬に『網野交番』への避難訓練を実施する。津波の避難経路は、海岸と反対方向へとこだわった。実施後、反省点はないか等振り返る必要がある。</p> <p>○子どもが恐怖を覚えないように、防犯訓練を実施する前に事前説明をしたので分かりやすかったと思う。また、今回は職員の訓練を中心に行った。</p>
研修(職員の資質向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で全園児を捉え、共通理解の下で課題を明確に対応する。 ・幼稚園教育の教育目標を定期的に全職員で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度、エピソードを持ち寄り、学習する。 ・後半、サポーターもエピソードを持ち寄り学習し、深める。 ・行事の計画は、サポーターも入り全職員で検討し、共通理解を進めていく。反省会もし、反省点は、次年度に生かす。 	<p>○△回数が増え、内容の選び方も変わり、エピソードの学習が深まってきたが、活発な意見交換があるともっとよい。</p> <p>○サポーターもエピソードを持ち寄ることで同じ気持ちで同じ方向に向かって進んでいることを確認した。</p> <p>△職員会議や園内研修の日の設定や内容の準備を段取りよく早めにする必要があった。</p>
次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談は、忘れず早めに行うことを認識しているが、再確認しながら進めていく。 ・職員一人一人が役割分担を認識し、しっかりと果たせるようにする。 ・網野町でも一貫教育が具体化され、研修や行事の参観・交流をした。次年度は、それを踏まえより確かな連携を確立していきたい。 		

平成26年度 学校評価自己評価報告(幼稚園)

幼稚園名 (京丹後市立丹後幼稚園)

幼稚園経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度幼稚園経営の重点(短期経営目標)	
<p>一人一人が生きて活動し、「楽しんで広がれ！つなごう！みんなえがお！」</p> <p>をテーマに、人とかかわりや様々な体験を通して心豊かたくましく、やさしさがあふれ、生きる力をもつ子を育成する。</p> <p>26年度合言葉 「あついい心とえがお、つなごう・つなごう たんごのわ スマイル！」</p>	<p>1 異年齢交流は意図的な計画ではなく自由な形で遊びが出来るような環境作りや生活の流れを工夫し、いたわりや思いやりの気持ちを持ち共に育ち合える環境作りをする。</p> <p>2 身近な人との出会いや関わりを大切に、自然体験や感動体験の機会を多く取り入れ、豊かな心や自主性が育つようにする。</p> <p>3 挨拶運動を推進しながら、保護者も交えて挨拶や返事が飛び交う取組を進める。</p>	<p>○異年齢交流を通して、人とのつながり、いたわりや優しさ、思いやりの心を育む心豊かな経験をす</p> <p>○聞く力や話す力が身につくよう計画的に取り組み、自分の思いを言葉で表現するなど言葉力の向上を図る。</p> <p>○保護者、地域の人との連携、保幼小中連携を深め、自然体験・生活体験・社会体験を積極的に取り入れ地域に根ざした園作りに努める。</p>	<p>本年度幼稚園経営の重点(短期経営目標)</p> <p>○異年齢交流を通して、人とのつながり、いたわりや優しさ、思いやりの心を育む心豊かな経験をす</p> <p>○聞く力や話す力が身につくよう計画的に取り組み、自分の思いを言葉で表現するなど言葉力の向上を図る。</p> <p>○保護者、地域の人との連携、保幼小中連携を深め、自然体験・生活体験・社会体験を積極的に取り入れ地域に根ざした園作りに努める。</p>	<p>成果と課題 (自己評価)</p> <p>○継続的に異年齢交流を実施したので、日々の活動の中では異年齢と一緒に交流して遊ぶ姿が増えてきた。</p> <p>○色々な活動に取り組み、相談し合う中で自信をつけ、自分の思いが表現出来るようになってきた。年少児も真似て挑戦する姿が出てきた。</p> <p>○人の話を聞く、目と目を合わせ話をする等繰り返し指導により集中して話を聞く姿が多くなった。</p> <p>○日々の読み聞かせや保護者による読み聞かせ、ボランティア等多くの方の読み聞かせを通して、絵本に親しみ絵本好きの子が増えた。</p> <p>△いろいろな体験を通して、開放感や遊びきった満足感を獲得させるには、人の役に立つ体験や認められる喜びなど自信や意欲を育てる体験や環境の工夫、きっかけ作りなど、保育者自身の共に育ち合う気持ちが大切である。</p> <p>△担任には挨拶するが、他の職員や来客には自主性に欠ける姿があり、誰にでも進んで挨拶をする雰囲気や環境作りが引き続き必要である。</p>	
<p>評価項目</p> <p>教育課程</p> <p>○異年齢交流を通して、いたわりや優しさ、思いやりの心を育む。</p> <p>○多くの体験を通して、心身共に逞しく、創造的、意欲的に遊ぶ子を育成する。</p> <p>○言葉力の向上</p> <p>・自分から進んで挨拶や返事をする力をつける。</p> <p>・人の言葉や話などを聞こうとする意欲や態度を育て、経験したことや思いなどを自分なりの言葉で表現する力を養う。</p> <p>・絵本や物語などに親しみ、想像力を働かせたり、言葉力を豊かにしたりする。</p>	<p>具体的方策</p> <p>・生活の中の異年齢交流 散歩・発育測定・つながり遊び・体操・リズム運動 ・合同散歩や遊びの交流(時期や活動に合わせて計画) ・行事を通して異年齢交流(運動会・遠足・発表会・誕生会・集団遊びなど) ・縦割り活動(チーム活動、菜園活動、かかし作り、クッキングなど共同する活動) ・朝、終わりの会(1日の振り返り)、当番活動 ・保育者による読み聞かせ ・ボランティア、保護者による読み聞かせ ・体験発表 ・お話作り</p>	<p>○継続的に異年齢交流を実施したので、日々の活動の中では異年齢と一緒に交流して遊ぶ姿が増えてきた。</p> <p>○色々な活動に取り組み、相談し合う中で自信をつけ、自分の思いが表現出来るようになってきた。年少児も真似て挑戦する姿が出てきた。</p> <p>○人の話を聞く、目と目を合わせ話をする等繰り返し指導により集中して話を聞く姿が多くなった。</p> <p>○日々の読み聞かせや保護者による読み聞かせ、ボランティア等多くの方の読み聞かせを通して、絵本に親しみ絵本好きの子が増えた。</p> <p>△いろいろな体験を通して、開放感や遊びきった満足感を獲得させるには、人の役に立つ体験や認められる喜びなど自信や意欲を育てる体験や環境の工夫、きっかけ作りなど、保育者自身の共に育ち合う気持ちが大切である。</p> <p>△担任には挨拶するが、他の職員や来客には自主性に欠ける姿があり、誰にでも進んで挨拶をする雰囲気や環境作りが引き続き必要である。</p>			

<p>子育て支援</p>	<p>○保護者や未就園児保護者のコミュニケーションの場を作り、子育ての安定を図る。 ○家庭と連携し、家庭の教育力の向上を図る。</p>	<p>・子育てについて悩みなど出し合える場作り。 (ママのお喋り会など) ・保護者の読み聞かせの実施(月1回) ・子育て支援センターや園開放、園庭開放で未就園児との交流 ・園全体で、子育て講演会、クラス懇談会、個人懇談会 ・生活点検表の活用・・・夏、冬 ・預かり保育、一時預かり保育の活用</p>	<p>○読み聞かせでは、保育所保護者の参加者も増えた。工夫も見られ読み聞かせの楽しさや必要性を感じてきた。 ○生活点検表は親子で生活の見直し、一緒に取り組むなど効果的であった。我が子のいい所探しも効果的だった。 △ママのお喋り会は行事企画を通して会員の交流が深まったが、子育てについて話を深める場も必要である。 △懇談会や便りでも子どもの様子を知らせているが、不十分という声もあり綿密な連携が必要である。</p>
<p>家庭・地域との連携</p>	<p>○地域の人とふれあい、故郷の素晴らしさに気づき愛着をもつ。 ○色々な人との体験を通して、生活を豊かにする。 ○園の様子を地域に知らせ、関心を持ち支援をしていただく。 ○小中学校との連携を密にし、スムーズな接続を図る。</p>	<p>・地域の人との交流や行事参加・・・いちがお園、地域の お年寄りとの交流、区民運動会、作品展 ・地域の方との菜園活動や合鴨放鳥のお手伝い、サッカー 一教室、交通教室 ・ポランテニアによる読み聞かせ ・地域に園だよりを配布し活動の発信 ・中学校との合同避難訓練、職場体験、合唱祭鑑賞、サ プライズ ・小学校との学習発表会前の発表鑑賞交流、交流学習会 への参加、体験入学、給食体験など</p>	<p>○園だよりの配布等により、園への関心も出てきてポランテニア活動の協力者が増えてきた。 ○農業従事者の方との農園活動は、感動を伴う体験が多く心身共豊かになった。 ○中学校との連携は、中学生の優しさを通して憧れや親しみが増しより身近な存在となった。 ○町内校園所長会は情報交流を通して、園運営に反映出来た。 △小学校とは通常の連絡会から計画的に連携内容を検討しスムーズな接続へつなげたい。</p>
<p>研修 (教員の資質向上)</p>	<p>○園内研修の充実 ○職員の資質向上</p>	<p>・年間研修計画に基づいて、指導力の向上を目指した研修や事例研究に取り組む。 ・研修会後は園内研修として報告会を実施し、職員の共通理解につなげる。</p>	<p>○研修会への積極的な参加、初任者研修と並行した研修、公開保育の実施など職員の資質向上につながった。 △保育所兼務、初任者研修や諸会議も多く、報告のみに終わり全職員で共通理解しながら研修を深める時間が持ちにくかった。 △報告・連絡・相談やPDCAサイクルの活用が大切である。</p>
<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<p>・異年齢交流は、継続的な取組により異年齢児との関わりも増え、優しさや思いやりの気持ちやりの大切にする。 ・身近な人との出会いや関わりを大切に、自然体験や感動体験の機会を多く取り入れ、豊かな心や自主性が育つよう努める。 ・挨拶運動を推進しながら、保護者も交えて挨拶や返事が飛び交う取組を進める。また小中学校と同時期に挨拶運動日を年間計画として設定する。 ・幼保小中一貫教育を見据えて、小学校へスムーズな接続が出来るよう幼児と児童の交流を計画的に取組み、職員間で連携し合い共通理解をする。 ・幼保一体化施設の中での勤務体制などを整理しながら、職員の資質向上のため引き続き研修時間が確保出来るよう計画的に取り組む。</p>	<p>・異年齢交流は、継続的な取組により異年齢児との関わりも増え、優しさや思いやりの気持ちやりの大切にする。 ・身近な人との出会いや関わりを大切に、自然体験や感動体験の機会を多く取り入れ、豊かな心や自主性が育つよう努める。 ・挨拶運動を推進しながら、保護者も交えて挨拶や返事が飛び交う取組を進める。また小中学校と同時期に挨拶運動日を年間計画として設定する。 ・幼保小中一貫教育を見据えて、小学校へスムーズな接続が出来るよう幼児と児童の交流を計画的に取組み、職員間で連携し合い共通理解をする。 ・幼保一体化施設の中での勤務体制などを整理しながら、職員の資質向上のため引き続き研修時間が確保出来るよう計画的に取り組む。</p>	<p>○研修会への積極的な参加、初任者研修と並行した研修、公開保育の実施など職員の資質向上につながった。 △保育所兼務、初任者研修や諸会議も多く、報告のみに終わり全職員で共通理解しながら研修を深める時間が持ちにくかった。 △報告・連絡・相談やPDCAサイクルの活用が大切である。</p>